

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年12月

応募者名:成田市 都市部 街路課

事業の名称:湯川線他1線整備事業

実施都市名:成田市

事業目的

本事業は、成田新高速鉄道事業による新駅「成田湯川駅」の駅前広場及びアクセス道路を整備するものである。

新駅は周囲の交通利便性を高め、地域発展の要となるものである。当事業は、利用しやすく景観上也優れた駅前広場、通行しやすく歩行者にも車にも安全な道路を整備して、駅の有する力を最大限引き出すことを目的とする。

事業概要

事業名称:湯川線他1線整備事業

路線名:湯川線、玉造線

事業箇所:成田市松崎地先

事業延長:0.41km (駅前広場4,800㎡)

幅員:19.0m~20.5m

事業費:約7億7千万円

事業実施期間:平成19年度~平成22年度

本事業は、新たに建設された成田湯川駅のアクセス道路及び駅前広場を整備するものである。

駅前広場は自動車での送迎がしやすい構造とするとともに、新駅舎と調和するデザインとし、優れた景観を形成させた。

駅への取付道路整備においては従前の道路を拡幅し、解放感のある景観を形成するとともに、通勤・通学のラッシュ時にも安全に歩行出来るものとした。

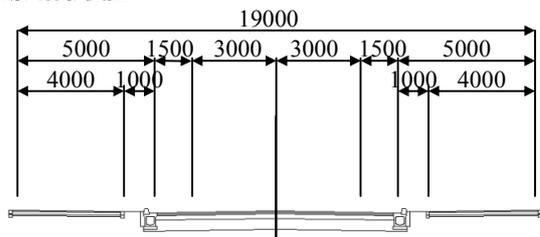
成田湯川駅はバスと電車の結節点となるものでもあるが、今後別事業でバス線用の乗降場を整備し、さらに使いやすく、安全にする予定である。

事業位置図



全体図(平面図・横断図・完成予想図)

湯川線横断図



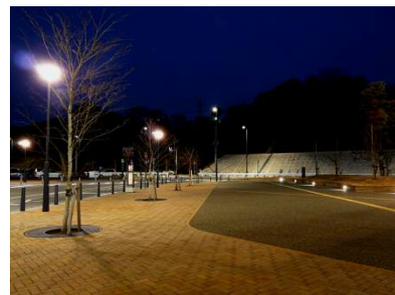
完成予想図



駅前広場横断図



湯川線・玉造線の整備効果アピール資料



広々とした主動線の送迎・歩行スペース



広い駐車帯と小さな段差のロータリー

○事業概要

事業名称：湯川線他1線整備事業
路線名：湯川線、玉造線
事業箇所：成田市松崎地先
事業延長：0.41km（駅前広場4,800m²）
幅員：19.0m～20.5m
事業費：約7億7千万円
事業期間：平成19年度～平成22年度

○すぐれた景観の形成

駅舎と一体となったデザイン

○交通利便性、安全性向上

幅員 事業前 約6m → 事業後 19.0m

○新たな交通結節点形成

かつてのバス路線の終点（バス停留場）が空港、都心と繋がる。

「整備効果」

- ・ 駅舎と駅前広場、アクセス道路を一体としてデザインし、広々とした歩行空間を確保することで、高質で安らぎのある景観を形成した。
- ・ ロータリーに舗装の材質に変化をつけた広い駐車帯を設け、乗り降りのしやすいものとした。段差は小さく緩やかにし、利用しやすいバリアフリーなものとした。
- ・ 歩行者動線に沿って植栽帯を設け、うるおいのある駅前広場を演出した。
- ・ バス乗降場を一般車・タクシーと分離し、乗り換えも車の流れもスムーズにした。
（バス専用乗降場は現在整備中）
- ・ 奥にバス停留場があるにも関わらず狭かった道路を拡幅し、交通利便性、安全性を大幅に高めた。

「その他の事業効果」

- ・ バス路線と鉄道の新たな交通結節点を作り出し、人の流れを呼び込んだ。
- ・ 駅が出来たことで、近隣にある高校への通学が安全、便利になり、学習環境が向上。
- ・ 公共交通機関が利用しやすくなり、その利用を促した。

事業前写真

平成19年3月撮影



平成18年10月撮影



事業後写真

平成24年1月撮影

